

令和5年度

# 予算の概要

☆一般会計	1
☆国民健康保険事業勘定特別会計	16
☆後期高齢者医療特別会計	20
☆農業集落排水事業特別会計	22
☆水道事業会計	26
☆下水道事業会計	29



白馬村





# 白馬村一般会計 (令和5年度予算の概要)

白馬の豊かさとは何か — 多様であることから交流し学びあい成長する村 —

## 【白馬村の財政状況】

令和3年度一般会計決算の歳入は、長引く新型コロナウイルス感染症対応による税収減や、定額給付金事業が終了したことによる国庫支出金の減などもあり、令和2年度と比較すると8.3%の減となりました。税収などの一般財源不足には「ふるさと白馬村を応援する基金」を繰り入れて事業を実施することにより、財政調整基金を取り崩すことなく、1億3,900万円余りの実質収支黒字を確保することができました。

税収面については、新型コロナウイルス感染症によりインバウンドの観光客数は激減し、村内経済に影響を及ぼしていますが、白馬村は固定資産税を主要な税収としており、所得により増減する村民税などとは違い、景気に左右されず安定的に歳入を確保できています。過去を省みれば、長野オリンピック前には大型施設などの建設が相次ぎ固定資産税額も増加し、オリンピック以降は、景気低迷による地価の下落、新築家屋数の減と税額も減少しました。しかし、ここ数年は、今後のウィズコロナの時代を見据えた先行投資による建築などが増加しており、徐々に固定資産税の課税額も増加傾向となっています。

地方交付税については、総務省による令和5年度地方財政対策のポイントで「地方交付税等の一般財源総額の確保」を行ったうえで、地域のデジタル化の推進、地域の脱炭素化の推進、自治体の施設の光熱費高騰への対応を主な歳出項目としています。このことから、白馬村の歳入の約35%を占める地方交付税は前年度並みに確保される見込みですが、国の予算は防衛関係経費もあり、増加を続ける社会保障関係経費や新型コロナウイルス感染症対策に必要な財政需要が適切に措置されるかなど、今後の動向に留意する必要があります。

基金残高状況は、新型コロナウイルス感染症に対応するための国からの交付金などが増加傾向であったため、令和3年度一般会計決算では、財政調整基金の額が過去最高額の10億円を超えました。標準財政規模の5%超10%以下が標準と言われるなかで、白馬村は27%と大幅に増えています。

歳出に目を転じると、地方債現在高は、新規発行債を元金償還額以下に抑えるといった予算編成方針の効果がようやく表れ始め、令和3年度決算で67億円となり、令和2年度に比べると4億円ほど減少し、幾分の改善が見られたところです。しかし、神城断層地震の災害復旧事業債やその他大型事業による新規発行債の元金償還が始まったことにより公債費支出額は増加をしており、令和3年度決算数値による実質公債費比率は13.1に上昇しています。元金償還額も償還終了に伴い、令和4年度と比較すると若干減少するものの、今後も年間の償還額は、引き続き7億円を超える見込みです。

広域ごみ処理施設建設、給食センター建設と大型事業が続きましたが、今後は、新たな施策として進めていかなければならないゼロカーボンビジョンの実現、デジタル化、子育て支援といった諸課題のための財源も確保する必要があります。不足する一般財源はふるさと白馬村を応援する基金の繰り入れなどがなければ、予算の組立てが難しい状況であることに変わりなく、財源的には厳しい状況が続いて

います。また、今後も不測の事態に備えた積立てと、老朽化している学校の改築などのために一定額の基金確保は必要であり、工夫しながら基金残高を増やしていくことも重要な課題となっています。

前述のとおり、白馬村の税収は安定的ではあるものの、急激には増加しない固定資産税が主であり、地方交付税やふるさと基金に依存しなければ歳出を補えないといった財政状況であることを認識し、いかにして諸課題を実現しつつ、行財政運営の更なる健全化を達成していくか、職員一人ひとりが危機感を持って、常に考えていかなければなりません。

## 【予算編成にあたっての基本的事項】

### 第一. 基本方針

令和5年度予算も、「白馬村第5次総合計画」の基本理念「白馬の豊かさとは何か 一多様であることから交流し学びあい成長する村」の実現を目指し、村政運営の基本である後期計画に掲げる基本目標に合致した事業を推進していくことはもちろんのことですが、予算編成にあたっては、社会環境の変化や脱炭素社会の実現などに対応し、限られた財源を効率的かつ効果的に配分し、「最少の経費で最大の効果」を挙げるため、すべての事業について緊急性や必要性、費用対効果を十分に検証したうえで、令和5年度は、次の3点を重点的かつ積極的に取り組むべき分野とし、全庁的に展開していくこととします。

#### ○ゼロカーボンビジョンの推進

「白馬村気候非常事態宣言」「白馬村ゼロカーボンシティ宣言」をはじめ、行政のみならず白馬村に関係する一人ひとりが、その意識を共有するため、カーボンニュートラルの実現に向け、庁内横断的な取組を推進します。

#### ○デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

デジタル社会に対応した行政サービスを目指し、創意工夫して臨機応変に対応するため、デジタル技術の活用により業務効率化を図って、行政サービスの更なる向上に繋げていくための事業を推進します。

#### ○子育て支援（少子化対策）の推進

喫緊の課題である少子化に対応するため、家庭・地域・学校と連携し、子育て世帯が安心して未来を担う子どもを育てるための取組を推進します。

### 第二. 具体的手法

#### ○経常的経費一般財源の枠配分方式による予算編成作業

令和5年度当初予算編成にあっても、社会情勢及び当村の財政状況、重点的事业の予算確保の観点から、徹底した歳出の圧縮を行いますが、その一方で、国の動向を注視しつつ景気の下振れリスクへの対応も意識するものとなりました。

令和4年度までと同様に、各課が「経常的経費」の一般財源を枠内で予算要求する枠配分方式を採用し、その配分については、令和4年度当初予算の一般財源に対し、電気料などの増額を加味したうえでの同額（ゼロシーリング）を要求限度額として設定しました。ただし、前述の重点的分野の事業については、予算要求に先立って各課からの提案方式によるものとし、経常的経費とは別枠で財源を確保しました。

#### ○歳入の確保と歳出の削減

健全な財政運営を持続し財政悪化を回避していくためには、一層の歳入確保に努める必要があります。経済情勢の推移や国県な

どの動向を注視し、職員一人ひとりの創意工夫や努力による新たな財源確保を図りました。

「自己責任型」予算要求方法とはいえ、「歳入に見合った歳出」を念頭に、職員一人ひとりがコスト意識を持って、課ごと主体性と自立性を発揮した事業の取捨選択により前例踏襲主義を廃して経費削減に努めました。なお、新規事業及び拡充事業については、実施の必要性を厳しく見極め、その財源の確保に努めるとともに、既存事業のスクラップにより財源を生み出してから新規事業のビルドを行いました。

また、令和4年度までと同様に持続可能な財政運営のため地方債現在高の抑制を念頭に、新規発行債は元金償還額以下に抑える方針としました。

#### 【重点的に取り組む分野】

社会環境の変化や脱炭素社会の実現などに向け全庁体制で取り組みます。

##### ○ゼロカーボンビジョンの推進

- ・【新】温室効果ガス削減を目指したエコカー買い換え補助金の創設
- ・【新】ゼロカーボンビジョンの実現に向け村民の理解を深めるための環境シンポジウムの開催
- ・ゼロカーボンシティ宣言の理念に基づく農業用水電動ゲート・小水力発電施設の建設
- ・【新】ゼロカーボンシティを目指すためのゼロエネ住宅普及補助金の創設

##### ○デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- ・【新】デジタル分野における専門的知見を有する人材の設置
- ・【拡】村民の利用促進を図るためのホームページのリニューアル
- ・【新】自主納付促進・徴収率向上を目指したSMS（ショートメッセージサービス）による催告
- ・【拡】観光客の満足度向上を図ったAIオンデマンドタクシーの運行

##### ○子育て支援（少子化対策）の推進

- ・3歳未満児の待機児童解消に向けた【拡】地域型保育事業の推進と【新】白馬幼稚園の支援
- ・【新】「はくばっ子応援交付金（＝子育て世帯への祝い金）」の創設
- ・【新】子どもたちが安心して過ごせるため「子ども第3の居場所」の開設
- ・子育て世帯の負担軽減のため第3子以降の学校給食費無償化と学校給食食材の一部公費負担

##### ○持続可能な地域づくりの推進

- ・【拡】公共交通網整備に向けた乗合タクシー・AIオンデマンドタクシー・スクールバス事業の車両の活用方法を連携させる併用実証運行
- ・【新】大都市から地方への動きを強化し観光の持続的成長を促すための支援（デジタル田園都市推進交付金事業）
- ・【拡】通年型マウンテンリゾートの構築を目指した八方池山荘建替え調査
- ・新規観光財源確保に向けた使途決定組織の編成

## 1 予算規模 60億5,600万円

前年度当初予算 58億7,600万円と比較し、1億8,000万円（3.1%）の増です。

## 2 歳入（説明は100万円単位（10万円以下切り捨て）で記載しています。）

**村税**は、14億4,600万円で昨年度比700万円（0.5%）の増です。固定資産税は新築家屋数の増加などにより2,100万円（2.4%）の増で計上しています。行動制限緩和による観光客の増加を考慮して村たばこ税は300万円（5.0%）の増、入湯税は700万円（24.9%）の増となっています。

**各種交付金**は、過去の実績及び県による収入見込額等をもとに算出し、法人事業税交付金は500万円（61.3%）の増、地方消費税交付金は1,400万円（6.2%）の増となっています。

**地方交付税**のうち普通交付税については、17億8,700万円で計上しています。国の地方財政計画では前年度を上回る金額の確保とはなっていますが、事業費補正の減額などを加味して1,300万円（0.7%）の微減となっています。

特別交付税は自治体の特殊事情により交付されるもので、交付額はその年度の特事情により増減するものです。除雪経費や観光地に係る経費など近年の交付実績による通常分に加え、令和5年度は新たにDX企業人材派遣地域活性化企業人やゼロカーボン施策を担う地域おこし協力隊員の計上などにより1,500万円（5.1%）の増となっています。

**国庫支出金**は4億8,600万円で前年度比9,300万円（16.2%）の減です。

減額の主なものは、新型コロナワクチン接種事業補助金（1,500万円減）、防災・安全交付金（9,400万円減）、非課税世帯等臨時給付金（1,000万円減）などです。

主な内訳は、児童手当国庫交付金8,400万円、障害者自立支援給付負担金6,400万円、保育所等整備交付金5,800万円、地方創生推進交付金5,500万円などです。

**県支出金**は3億2,900万円で前年度比800万円（2.5%）の増です。

増額の主なものは、地籍調査事業補助金（1,100万円増）、ジャンプ競技場管理委託金（1,000万円増）などです。

主な内訳は、国民健康保険保険基盤安定負担金3,900万円、障害者自立支援給付負担金3,200万円、多面的機能支払交付金2,400万円などです。

**寄附金**は1億7,100万円で前年度比1,800万円（11.8%）の増です。

増額の主なものは、ふるさと白馬起業家支援・協働のまちづくり寄附金（800万円増）、企業版ふるさと寄附金（1,000万円増）などです。

主な内訳は、ふるさと白馬村を応援する寄附金1億5,000万円などです。

**繰入金**は4億3,300万円で前年度比8,900万円（26.1%）の増です。

令和5年度も令和4年度に引き続き財政調整基金の繰り入れを計上せずに予算編成しました。

主な内訳は、減債基金2,500万円（2,200万円減）、福祉基金2,600万円（1,900万円増）、ふるさと白馬村を応援する基金3億6,800

万円（9,500万円増）などです。ふるさと白馬村を応援する基金は、白馬村を応援していただいた皆様の期待に沿えるよう有効に活用する計画です。

**村債**は3億5,100万円で前年度比6,700万円（23.8%）の増です。

主な内訳は、普通交付税の振替分（一般財源）として扱われる臨時財政対策債3,000万円（4,000万円減）、広域ごみ処理施設建設に係る廃棄物対策事業債7,400万円、スノーハープ改修事業に係る辺地対策事業債7,000万円、ウイング21改修事業に係る緊急防災・減災事業債3,300万円などです。

### 3 歳出（説明は100万円単位（10万円以下切り捨て）で記載しています。）

#### 【目的別歳出】

**議会費 7,500万円** 前年度比100万円（2.0%）増

会議録反訳料100万円、本会議場音響システムリース料100万円などを計上しています。

**総務費 10億5,100万円** 前年度比700万円（0.7%）増

財産管理事業では、庁舎エレベーター改修工事のため庁舎改修修繕工事費に1,000万円、マイクロバス購入のため公用車購入費に1,000万円、情報化対策事業では、行政サービスの更なる向上のためDXコンサルティング業務委託料（DX人材設置）に800万円、企画一般事業では、地域公共交通の運行に向けて具体的な実施計画と導入課題解決のために地域課題マッチング事業・地域交通検討業務委託料に200万円、ふるさと納税事業に7,700万円、地球温暖化対策事業では、社会環境の変化に対応するため高出力設備への公共施設急速充電設備更新工事費に1,000万円を計上しています。賦課徴収事業では、行政サービス向上を図り固定資産管理システム更新のため地番図更新等更新委託料に300万円を計上しています。スノーハープ維持管理事業では、メイン会場法面改修等に6,800万円を計上しています。

**民生費 13億7,000万円** 前年度比1億5,000万円（12.3%）増

児童手当等給付事業では、認定保育施設に対する財政支援として施設型・地域型保育給付費に7,900万円、未満児保育の希望者増加に対応するため小規模保育所等整備補助金に6,500万円、子育て支援事業では、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりのため子ども第3の居場所事業補助金に6,000万円を計上しています。また、新たに白馬村独自事業として子育て世帯へ祝い金を交付するため、はくばっ子応援交付金事業200万円を計上しています。

**衛生費 5億3,300万円** 前年度比1億3,300万円（33.4%）増

保健予防事業では、新型コロナウイルスワクチン接種事業として200万円、母子保健衛生事業では、子育て家庭が安心して子育てができる環境を整えるため出産子育て応援交付金に500万円を計上しています。塵芥処理事業では、ごみ処理広域化施設整備などに係る北アルプス広域連合負担金に2億3,800万円、し尿処理事業では、白馬山麓事務組合負担金に8,300万円を計上しています。

**農林業費 2億5,700万円** 前年度比2,500万円（8.9%）減

農地の生産効率を高めるための北城南部と北部のほ場整備事業に2,900万円、「ゼロカーボンシティ」宣言の理念に基づき犬川に小水力発電施設と電動ゲートを建設するため犬川小水力発電事業に3,000万円、地籍調査事業では、20ha以上の新規調査に入るた

め数値測量業務委託料等に 1,900 万円を計上しています。

**観光商工費 3億 1,200万円** 前年度比 2,800 万円 (8.5%) 減

山岳観光施設維持補修事業に八方池山荘建替整備・運営事業官民連携事業導入調査委託料として 1,600 万円、21 観光戦略事業では、新規財源確保に向けた使途決定組織の編成に係る観光地経営会議運営支援委託料に 200 万円、海外観光客受皿整備事業では、冬期観光客の二次交通の利便性を図るため A I ナイトデマンドタクシー運行事業として 1,100 万円、地方創生推進交付金事業に 1 億 1,100 万円を計上しています。

**土木費 8億 6,100万円** 前年度比 1 億 2,700 万円 (12.9%) 減

土木総務事業では、駅前無電柱化工事に係る県単事業地元負担金に 2,100 万円、住民生活に身近な道路の整備を進めるため、村道改良国庫補助事業に 5,700 万円、道路改良起債事業に 7,700 万円を計上しています。都市計画事業では、5 年に一度の都市計画基礎調査に係る都市計画基礎調査業務委託料に 500 万円、都市計画基盤図修正事業委託料に 900 万円、白馬村ゼロエネ住宅普及支援事業では、ゼロカーボンシティを目指しゼロエネ住宅普及補助金に 100 万円、下水道事業会計の繰出金には 3 億 3,500 万円計上しています。

**消防費 2億 600万円** 前年度比増減なし

常備消防事業では、北アルプス広域連合負担金 1 億 5,800 万円、防災事業では、防災システム等保守委託料 600 万円を計上しています。

**教育費 5億 1,500万円** 前年度比 6,900 万円 (15.5%) 増

教育委員会事務局一般事業では、白馬南・北小学校が創立 150 周年を迎えることから記念事業開催等に小学校記念事業負担金 200 万円、令和 4 年度に引き続き当初予算から、将来の施設改修などに備えて義務教育施設整備基金積立金 500 万円を計上しています。学校施設の長寿命化等のため学校環境整備事業に 1,600 万円、路線の拡充や車両活用の実証運行を行うためスクールバス運行事業に 2,200 万円を計上しています。伝統的建造物群保存事業では、青鬼土蔵改修事業として 400 万円、ウイング 21 維持管理事業では、電源装置等改修事業に 3,300 万円を計上しています。

**公債費 7億 4,900万円** 前年度比 1,000 万円 (1.4%) 減

新防災情報配信システムに係る村債などの元金償還が始まります。

**【性質別歳出】**

**人件費 10億 9,900万円** 前年度比 1,900 万円 (1.8%) 増

増額の主なものは、人事院勧告に基づく勤勉手当の支給割合引き上げ・若年層および会計年度任用職員の給料表改定などによるものです。

**物件費 9億 6,100万円** 前年度比 100 万円 (0.1%) 減

財産管理事業に庁舎空調設備設置事業の債務負担行為の開始により庁舎空調設備等リース料 2,200 万円、ふるさと納税事業に返礼業務委託料 6,600 万円、地籍調査事業に数値測量業務委託料等 1,900 万円、山岳観光施設維持補修事業に八方池山荘建替整備・運営

事業官民連携事業導入調査委託料 1,600 万円、海外観光客受皿整備事業にナイトデマンドタクシー運行事業として 1,100 万円、都市計画事業に景観計画を補完することを目的とした景観計画ガイドライン策定委託料 300 万円、スクールバス運行事業に 2,200 万円、学校給食センター事業に賄材料費 4,400 万円を計上しています。

**維持補修費 3 億 300 万円** 前年度比 3,000 万円 (11.3%) 増

白馬ジャンプ競技場維持管理事業にリフト改修などのため修繕費 1,600 万円、道路維持補修事業に地区からの要望にきめ細かな対応をするため村道維持補修工事費 1,900 万円、除雪事業に除雪委託料 2 億 700 万円を計上しています。

**扶助費 3 億 4,800 万円** 前年度比 700 万円 (2.3%) 増

心身障害者福祉事業に自立支援給付費 1 億 2,700 万円、児童手当等給付事業に児童手当 1 億 2,300 万円、学校給食センター事業に経済的に困窮している家庭への支援策として準要保護児童生徒援助費 400 万円を計上しています。

**補助費等 16 億 3,800 万円** 前年度比 1 億 8,900 万円 (13.0%) 増

白馬高校支援事業とし尿処理事業を合わせて白馬山麓事務組合等負担金 1 億 6,600 万円、児童手当等給付事業に認定保育施設に対する財政支援として施設型・地域型保育給付費 7,900 万円・保育所等整備補助金 6,500 万円・3 歳未満児の待機児童解消に向けた取り組みとして 2 歳児を受け入れる幼稚園支援策として私立幼稚園運営補助金 300 万円、子育て支援事業に子ども第 3 の居場所事業補助金 6,000 万円、はくばっ子応援交付金事業に 200 万円、塵芥処理事業に北アルプス広域連合負担金 2 億 3,800 万円、地方創生推進交付金事業に交付金事業負担金 1 億 1,100 万円、公共下水道事業に下水道事業会計繰出金 3 億 3,500 万円を計上しています。

**普通建設事業費 4 億 2,200 万円** 前年度比 7,400 万円 (15.0%) 減

財産管理事業と保健福祉ふれあいセンター維持管理事業にエレベーター改修事業として合わせて工事請負費 2,600 万円、スノーハーブ維持管理事業にメイン会場法面の施設改修工事費 6,500 万円、ほ場整備事業に 2,900 万円、犬川小水力発電事業に 3,000 万円、村道改良国庫補助事業に 5,600 万円、道路改良起債事業に 7,600 万円、ウイング 2 1 維持管理事業に工事請負費 3,300 万円を計上しています。

**繰出金 3 億 8,900 万円** 前年度比 1,400 万円 (3.9%) 増

住民国保事業に国民健康保険事業勘定特別会計繰出金 1 億 800 万円、後期高齢者医療事業に後期高齢者医療特別会計繰出金 1 億 900 万円、農業集落排水事業の公営企業会計適用化に向けた追加費用などを含む農業集落排水事業特別会計繰出金 400 万円を計上しています。

## 第1表 一般会計歳入歳出予算一覧表 歳入

(単位：千円)

款	令和5年度 当初予算額	令和5年度		令和4年度 当初予算額	比較	構成比 %	増減率 %	備 考 (主な増減額 10万円以下切り捨て)
		特定財源	一般財源					
1 村 税	1,446,023	35,117	1,410,906	1,438,458	7,565	23.9	0.5	固定資産税+21,000 入湯税+7,000
2 地 方 譲 与 税	71,970	6,970	65,000	74,709	▲ 2,739	1.2	▲ 3.7	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
3 利 子 割 交 付 金	400	0	400	700	▲ 300	0.0	▲ 42.9	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
4 配 当 割 交 付 金	3,500	0	3,500	3,100	400	0.1	12.9	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
5 株式等譲渡所得割交付金	3,400	0	3,400	2,000	1,400	0.1	70.0	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
6 法 人 事 業 税 交 付 金	15,000	0	15,000	9,300	5,700	0.2	61.3	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
7 地 方 消 費 税 交 付 金	240,000	117,000	123,000	226,000	14,000	4.0	6.2	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
8 環 境 性 能 割 等 交 付 金	4,700	0	4,700	4,700	0	0.1	0.0	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
9 地 方 特 例 交 付 金	4,200	0	4,200	4,800	▲ 600	0.1	▲ 12.5	過去の交付実績、地方財政計画等から推計
10 地 方 交 付 税	2,098,000	0	2,098,000	2,096,000	2,000	34.6	0.1	過去の交付実績、地方財政計画等から推計
11 交通安全対策特別交付金	1,300	0	1,300	1,400	▲ 100	0.0	▲ 7.1	過去の交付実績等から推計
12 分 担 金 及 び 負 担 金	85,773	85,773	0	84,979	794	1.4	0.9	有害鳥獣被害防止対策事業負担金+2,000
13 使 用 料 及 び 手 数 料	69,473	69,473	0	61,635	7,838	1.1	12.7	A I ナイトデマンドタクシー使用料+4,000
14 国 庫 支 出 金	486,425	486,425	0	580,125	▲ 93,700	8.0	▲ 16.2	新型コロナワクチン接種事業補助金▲15,000 防災・安全交付金▲94,000 非課税世帯等臨時給付金▲10,000
15 県 支 出 金	329,689	325,264	4,425	321,681	8,008	5.4	2.5	子どものための教育・保育給付県費交付金+4,000 地籍調査事業補助金+11,000 ジャンプ競技場管理委託金+10,000
16 財 産 収 入	16,320	16,320	0	16,417	▲ 97	0.3	▲ 0.6	
17 寄 附 金	171,100	171,000	100	153,052	18,048	2.8	11.8	ふるさと白馬起業家支援・協働のまちづくり寄附金+8,000 企業版ふるさと寄附金+10,000
18 繰 入 金	433,503	433,503	0	343,832	89,671	7.2	26.1	減債基金繰入金▲22,000 福祉基金繰入金+19,000 ふるさと白馬村を応援する基金繰入金+95,000
19 繰 越 金	30,000	0	30,000	36,000	▲ 6,000	0.5	▲ 16.7	
20 諸 収 入	193,724	180,531	13,193	133,112	60,612	3.2	45.5	B&G財団助成金+59,000 充電インフラ整備事業補助金+6,000
21 村 債	351,500	321,500	30,000	284,000	67,500	5.8	23.8	臨時財政対策債▲40,000 廃棄物対策事業債+74,000 辺地対策事業債(観光レクリエーション施設)+66,000 緊急防災・減災事業債(ウイング21)+33,000
歳 入 合 計	6,056,000	2,248,876	3,807,124	5,876,000	180,000	100.0	3.1	

第2表 一般会計歳入歳出予算一覧表 歳出（目的別）

（単位：千円）

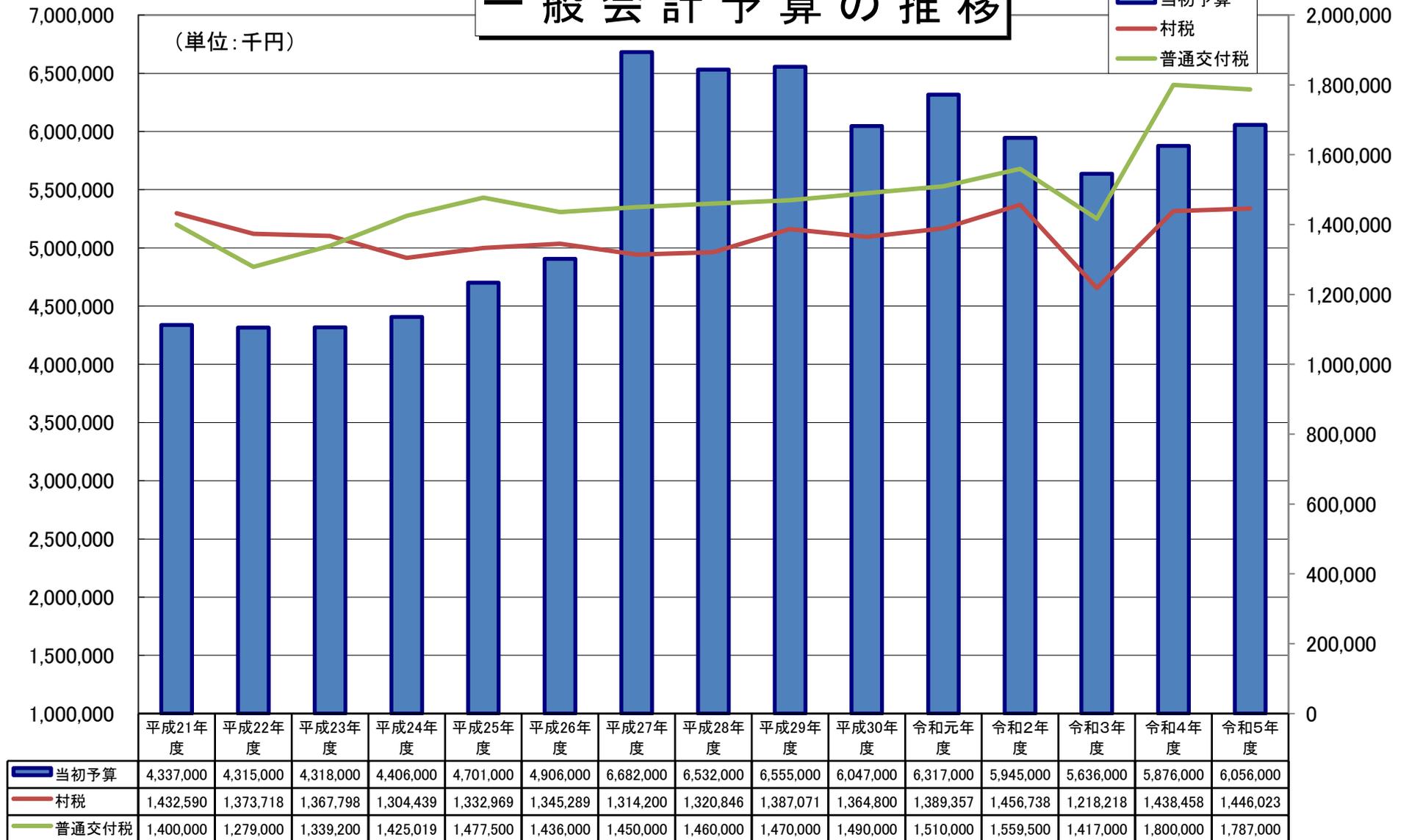
款	令和5年度 当初予算額	令和5年度		令和4年度 当初予算額	比較	構成比 %	増減率 %	備考 (主な増減額 10万円以下切り捨て)
		特定財源	一般財源					
1 議会費	75,310	0	75,310	73,809	1,501	1.2	2.0	議員・職員手当+1,000
2 総務費	1,051,136	377,728	673,408	1,043,594	7,542	17.4	0.7	庁舎空調設備等リース料+19,000 マイクローバス購入費+10,000、ジャンプ競技場修繕費+10,000 スノーハーブメイン会場法面改修事業+64,000
3 民生費	1,370,935	740,754	630,181	1,220,901	150,034	22.7	12.3	地域型保育給付費+17,000 保育所等整備補助金+20,000 子ども第3の居場所事業補助金+60,000
4 衛生費	533,628	299,327	234,301	400,059	133,569	8.8	33.4	北アルプス広域連合負担金（塵芥処理事業）+128,000 白馬山麓事務組合負担金（し尿処理事業）+15,000
5 農林業費	257,004	156,993	100,011	282,027	▲ 25,023	4.2	▲ 8.9	ほ場整備調査設計委託料▲16,000 犬川小水力発電工事請負費▲17,000
6 観光商工費	312,017	169,298	142,719	340,856	▲ 28,839	5.2	▲ 8.5	道の駅白馬土地購入費▲13,000 新型コロナウイルス感染対策事業▲20,000
7 土木費	861,212	219,194	642,018	989,022	▲ 127,810	14.2	▲ 12.9	除雪機械購入費▲13,000 村道改良国庫補助事業▲154,000
8 消防費	206,454	10,299	196,155	205,916	538	3.4	0.3	北アルプス広域連合負担金（常備消防事業）+2,000
9 教育費	515,809	124,118	391,691	446,417	69,392	8.5	15.5	スクールバス運行事業+4,000 青鬼土蔵改修事業+4,000 ウイング21電源装置等改修工事請負費+33,000
10 災害復旧費	0	0	0	0	0	0.0	-	
11 公債費	749,014	29,689	719,325	759,446	▲ 10,432	12.4	▲ 1.4	長期債元金▲7,000 長期債利子▲2,000
12 諸支出金	121,481	121,476	5	111,953	9,528	2.0	8.5	企業版ふるさと白馬村を応援する寄附金に基づく積立金+9,000
13 予備費	2,000	0	2,000	2,000	0	0.0	0.0	
歳出合計	6,056,000	2,248,876	3,807,124	5,876,000	180,000	100.0	3.1	

第3表 一般会計歳入歳出予算一覧表 歳出（性質別）

（単位：千円）

区 分	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比 較	構成比 %	増減率 %	備 考 (主な増減額 10万円以下切り捨て)
1 人 件 費	1,099,364	1,079,808	19,556	18.2	1.8	人事院勧告に基づく期末手当の支給割合引き上げ
2 物 件 費	961,584	962,608	▲ 1,024	15.9	▲ 0.1	行政手続オンライン化委託料▲10,000 自治体セキュリティ強化対策更新委託料▲34,000 都市計画航空写真作成委託料▲10,000
3 維 持 補 修 費	303,695	272,787	30,908	5.0	11.3	ジャンプ競技場修繕費+10,000 除雪委託料+18,000
4 扶 助 費	348,619	340,927	7,692	5.8	2.3	自立支援給付費+15,000
5 補 助 費 等	1,638,285	1,449,184	189,101	27.0	13.0	地域型保育給付費+17,000、保育所等整備補助金+20,000 子ども第3の居場所事業補助金+60,000 北アルプス広域連合負担金（塵芥処理事業）+128,000
6 普通建設事業費	422,830	497,342	▲ 74,512	7.0	▲ 15.0	ほ場整備調査設計委託料▲16,000 犬川小水力発電工事請負費▲17,000 村道改良国庫補助工事請負費▲133,000
7 災 害 復 旧 費	0	0	0	0.0	-	
8 公 債 費	749,014	759,446	▲ 10,432	12.4	▲ 1.4	長期債元金▲7,000 長期債利子▲2,000
9 積 立 金	126,564	117,581	8,983	2.1	7.6	企業版ふるさと白馬村を応援する寄附金に基づく積立金+9,000
10 投資・出資金	0	0	0	0.0	-	
11 貸 付 金	15,010	20,010	▲ 5,000	0.2	▲ 25.0	白馬村商工振興資金預託金▲5,000
12 繰 出 金	389,035	374,307	14,728	6.4	3.9	北アルプス広域連合負担金（介護保険）+3,000 国民健康保険事業特別会計繰出金+3,000 後期高齢者医療特別会計繰出金+6,000
13 予 備 費	2,000	2,000	0	0.0	0.0	
歳 出 合 計	6,056,000	5,876,000	180,000	100.0	3.1	

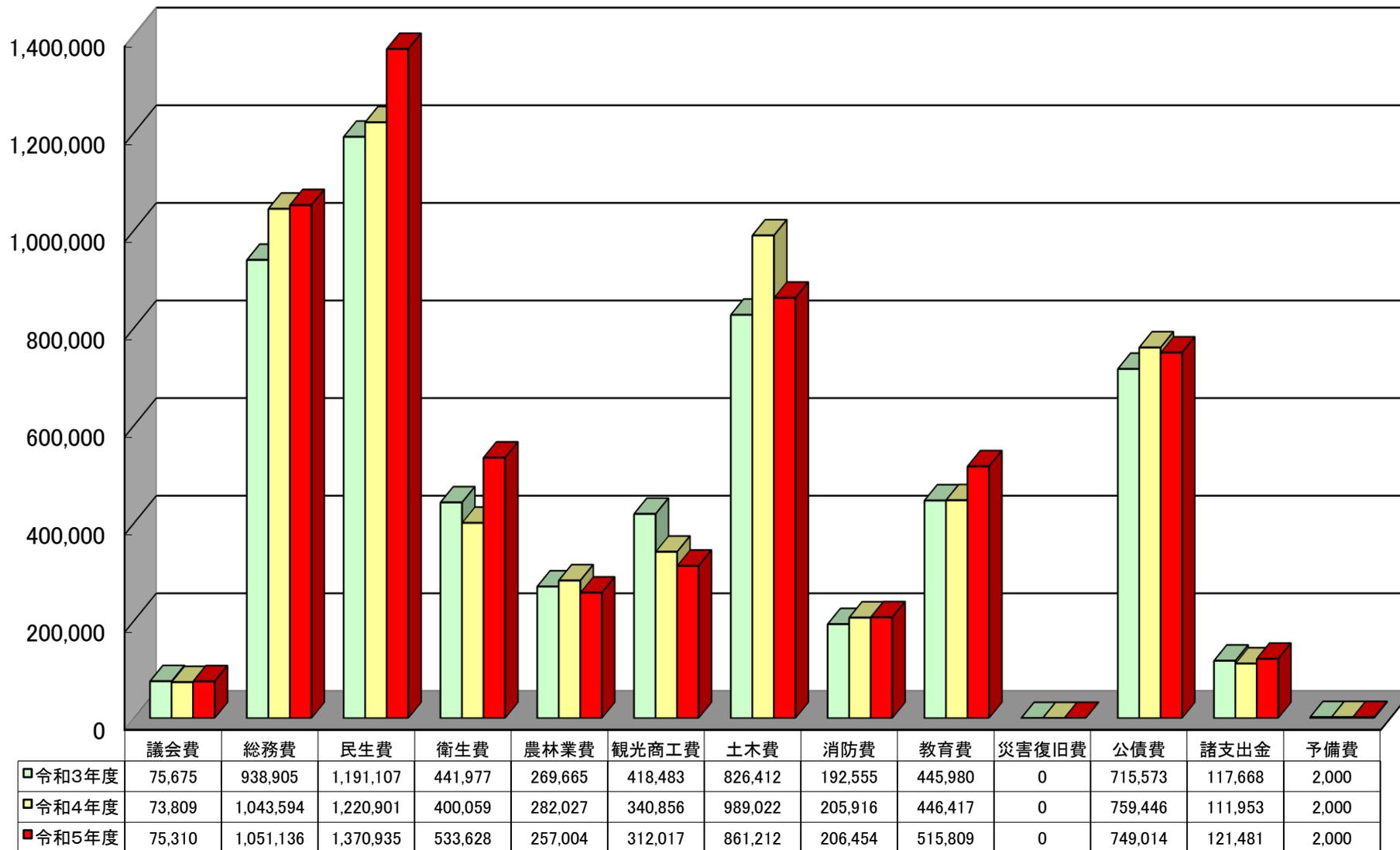
# 一般会計予算の推移



# 目的別歳出予算比較表

(単位:千円)

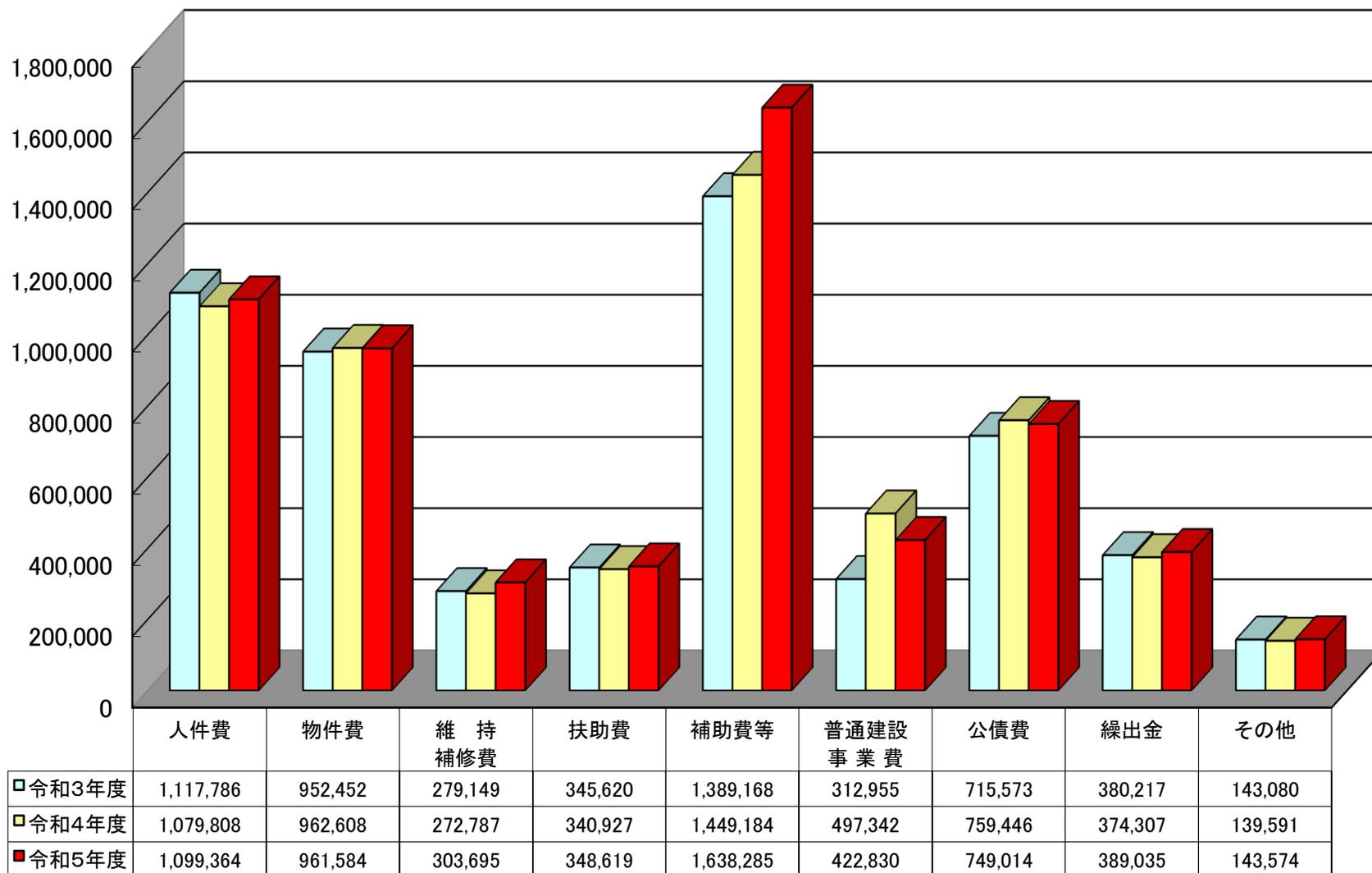
■ 令和3年度  
■ 令和4年度  
■ 令和5年度



(単位:千円)

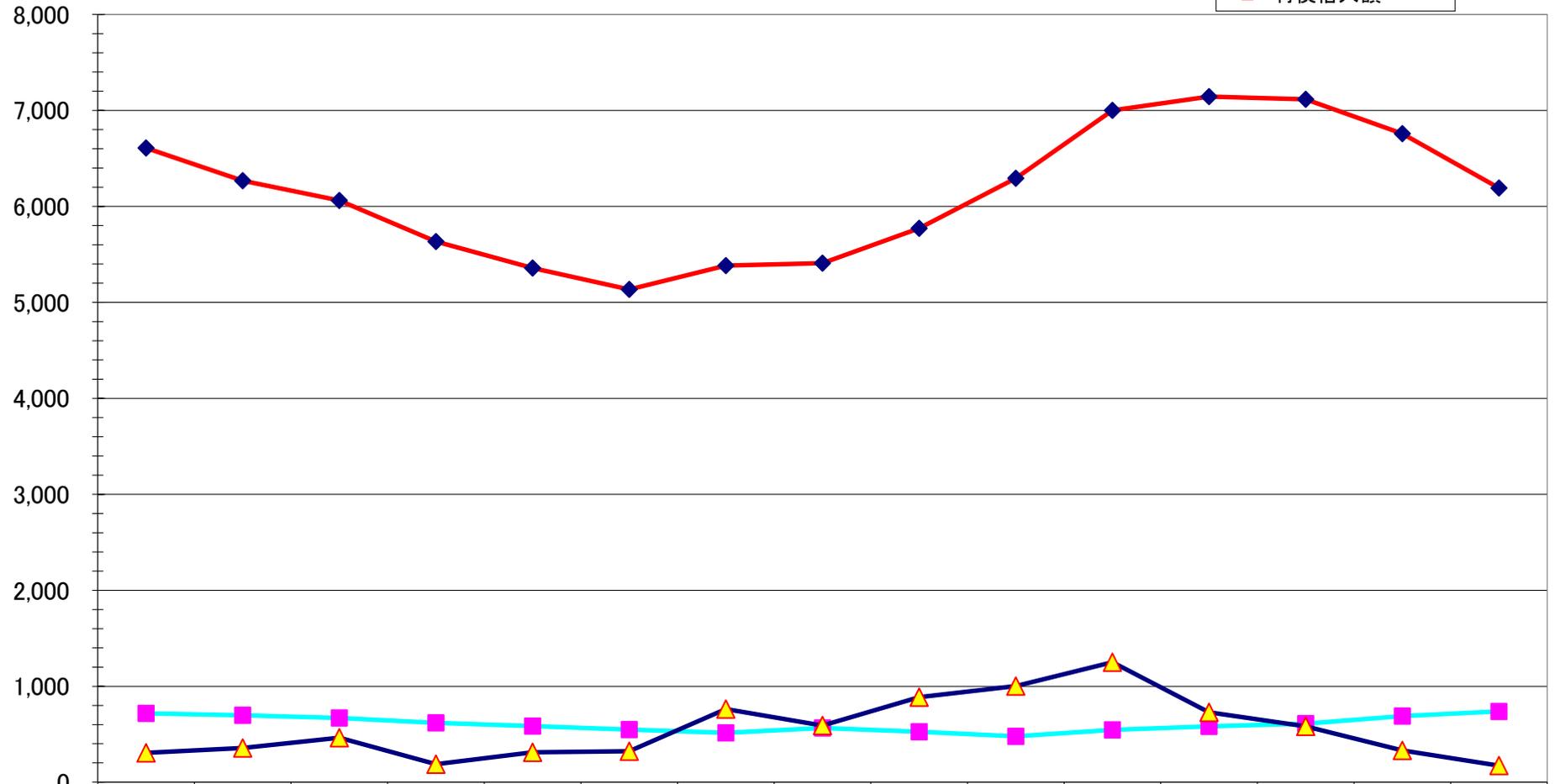
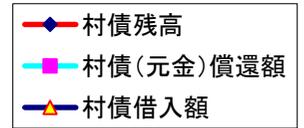
# 性質別歳出予算比較表

□令和3年度  
□令和4年度  
■令和5年度



# 村債現在高の推移

(単位: 百万円)



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度見込み
村債残高	6,608	6,267	6,062	5,633	5,358	5,134	5,383	5,409	5,771	6,294	7,000	7,144	7,115	6,757	6,191
村債(元金)償還額	717	696	668	617	585	547	514	565	524	478	544	583	610	690	738
村債借入額	306	355	463	188	311	322	763	591	886	1,001	1,250	727	581	332	172

村税・村債発行額と公債費の推移(平成元年度～)

(単位;千円)

年度	村税決算額	村債発行額	主な事業	公債費(一借除く)	村債残高	歳出決算額
平成元年度	1,626,695	662,900	ふれあいの杜・ジャンプ台・農体実習館	442,620	3,409,233	4,243,469
平成2年度	1,729,250	716,700	ジャンプ台・村道20路線	887,093	3,443,093	4,384,655
平成3年度	1,993,762	642,850	ジャンプ台・村道改良(森上、白沢他)	431,809	3,843,219	4,598,829
平成4年度	2,005,559	1,156,800	ジャンプ台・南小増改築・ふれあいセンター	603,035	4,605,280	5,914,112
平成5年度	2,133,806	1,994,700	スノーハープ・ジャンプサマー化・ふれあいC ・防災無線・田舎白馬	540,120	6,243,853	7,164,193
平成6年度	2,091,934	1,552,200	スノーハープ・村道J台線他	640,375	7,386,285	6,692,198
平成7年度	2,202,522	2,032,200	スノーハープ・中学校建設・豪雨災害対策事業 ・アルペン会場・ウイング21・村道五輪関連	710,171	9,056,640	9,439,671
平成8年度	2,278,428	2,375,865	スノーハープ・中学校建設・アルペン会場 ・ウイング21・村道五輪関連	935,893	10,880,444	11,179,980
平成9年度	2,335,654	1,578,535	ウイング21・五輪関連道路	1,101,559	11,773,438	7,962,554
平成10年度	2,184,861	373,700	村道(1115号ほか)・南小屋根等	1,517,665	11,035,454	6,170,823
平成11年度	2,113,740	464,900	村道八方融雪他・メディアムヒル	1,552,172	10,317,023	6,512,506
平成12年度	1,963,677	674,400	村道八方融雪他・メディア貸付	1,396,632	9,918,926	6,511,621
平成13年度	1,885,935	604,400	北小体育館・村道改良・農道 臨時財政対策債96,100	1,455,144	9,359,997	6,803,335
平成14年度	1,811,894	784,300	南小体育館・大出公園・村道 臨時財政対策債195,500	1,439,813	8,963,704	6,169,972
平成15年度	1,700,257	875,600	南小プール・大出公園・村道・農道 臨時財政対策債383,400	1,401,209	8,662,754	5,844,313
平成16年度	1,662,505	592,900	北小校舎・大出公園・除雪基地 臨時財政対策債260,100	1,219,982	8,233,030	5,413,547
平成17年度	1,557,584	369,700	大出公園・メディアムヒル 臨時財政対策債201,300	1,177,426	7,596,724	4,882,060

(単位;千円)

年度	村税決算額	村債発行額	主な事業	公債費(一借除く)	村債残高	歳出決算額
平成18年度	1,456,505	763,300	しろま保育園・村道神城山麓線 臨時財政対策債185,300	1,030,845	7,476,283	5,055,639
平成19年度	1,536,105	307,800	小学校耐震化・村道神城山麓線 臨時財政対策債168,000	902,932	7,018,776	4,537,881
平成20年度	1,543,510	306,259	村道神城山麓線・スノーハープ木橋 臨時財政対策債157,359	840,918	6,608,268	4,389,692
平成21年度	1,474,100	354,735	村道神城山麓線・情報通信基盤整備 臨時財政対策債244,235	807,925	6,267,182	4,919,517
平成22年度	1,529,559	463,113	情報通信基盤整備・スノーハープ木橋 臨時財政対策債338,013	769,644	6,062,315	5,532,444
平成23年度	1,522,695	187,856	スノーハープ木橋・村道神城山麓線 臨時財政対策債71,256	709,777	5,633,354	4,359,517
平成24年度	1,458,302	309,944	スノーハープ木橋・B&Gプール 臨時財政対策債50,444	667,967	5,358,375	4,591,844
平成25年度	1,503,305	322,300	スノーハープ芝グラウンド改修、奈良井有効利用整備 臨時財政対策債100,000	620,189	5,134,048	4,734,925
平成26年度	1,447,590	762,790	スノーハープコース等改修、奈良井有効利用整備 臨時財政対策債42,990	578,502	5,383,098	5,724,124
平成27年度	1,477,090	591,204	公共土木施設、農林業施設災害復旧 スノーハープ・ジャンプ競技場改修等事業 臨時財政対策債227,804	624,830	5,409,341	7,182,841
平成28年度	1,484,265	886,494	公共土木施設、農林業施設災害復旧 新防災情報配信システム、一般廃棄物処理施設等事業 震災復興村営住宅建設 臨時財政対策債186,594	575,851	5,770,842	7,451,009
平成29年度	1,483,103	1,001,351	一般廃棄物処理施設建設事業、道路改良事業 ケーブルテレビ機器更新事業、村営住宅耐震改修事業 臨時財政対策債188,951	520,534	6,294,241	6,215,376
平成30年度	1,471,245	1,250,365	学校給食センター建設事業、道路改良事業 一般廃棄物処理施設建設事業 臨時財政対策債183,265	581,132	7,000,038	6,977,699
令和元年度	1,522,164	727,269	道路改良事業、ウイング屋根改修事業 新防災情報配信システム、学校エアコン設置事業 臨時財政対策債150,769	614,592	7,144,649	6,308,459
令和2年度	1,485,157	581,152	道路改良事業、B&G体育館改修事業 新防災情報配信システム、一般廃棄物処理施設建設事業 臨時財政対策債140,852	637,763	7,115,312	7,524,141
令和3年度	1,290,330	331,598	道路改良事業、は場整備事業、 駅前無電柱化負担金、落倉自然園木橋改修事業、 臨時財政対策債145,898	712,550	6,757,379	6,848,676
令和4年度見込み	1,446,000	171,957	道路改良事業、駅前無電柱化負担金、 庁舎屋根改修事業、臨時財政対策債53,857	757,945	6,191,046	7,045,000

## 令和5年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算の概要

国の社会保障制度改革に伴い、平成30年度から県も市町村とともに国民健康保険（以下「国保」と表記）の運営を担うようになり5年が経過します。この間、国保運営は概ね順調に実施されていますが、少子高齢化による被保険者の減少が見込まれる中で、持続可能な安定的な財政運営や効率的な事業の確保などに努めていかなければなりません。

このような状況を踏まえ、長野県では令和3年3月に保険料水準の統一に向け、納付金の算定方法を見直すなどの必要な改革と保険事業の取組の方向性等を示した国保運営の中期的改革方針となるロードマップが策定され、令和9年度までに二次医療圏での医療費指数の統一と国保税応益割を標準保険料に近づけることが示され、これに伴い今年度から税率の改正を行います。毎年度変動する医療費水準と国保加入者の所得及び決算状況、並びに新型コロナウイルス感染症の所得へ及ぼす影響も勘案しながら、県下統一税率に向けた税率の更新を行うとともに、県が実施する激減緩和措置を講じていきます。

当村の被保険者一人あたりの医療費は、令和3年度では283,584円（前年比42,969円の増、県下77市町村中75位）で、平成24年度から県下で70位台を維持し低水準を堅持しているものの、今後の後期高齢者医療制度への移行者の増加や人口減少等による被保険者数の減少が見込まれることから、いわゆる現役世代の負担が増加することが想定されます。

入国制限が緩和された影響により冬期間の国外からの外国籍の転入者が大幅に増加しているため、外国籍の転入者への国保制度の理解と国保税の納入についての周知を推進します。

令和5年度も安定的な国保事業を維持するために国保税の適切な賦課徴収に努めるとともに、医療費の抑制に繋げるため重症化予防と若年時点からの健康診断の受診等の推進に努めます。

### 1. 予算編成の基本方針

国保税の収納対策として、外国籍の国保加入者に対して、国保税を加入時に支払う予納方式による納入を推進するとともに、外国籍者も含め口座振替・コンビニ収納・クレジットカード決済・スマホ決済により利便性を向上させることにより、納税促進も図り徴収率の向上に努めていきます。

また保健事業については、データヘルス計画に沿った生活習慣病重症化予防事業と高齢者保健事業と介護予防の一体化事業を積極的に推進することとし、引き続き特定健診受診率、保健指導実施率の向上を目指し事業を進めます。

## 2. 予算規模

令和5年度の予算規模は、県から示された国民健康保険事業費納付金や近年の医療費水準を勘案し、歳入歳出予算総額で1,030,928千円（前年度比15,939千円の増）となりました。

## 3. 歳入

### (1)国民健康保険税

税率改正、人口動態を鑑み192,400千円（前年度比15,899千円の減）を計上しました。

### (2)国庫補助金

災害臨時特例補助金として、100千円を計上しました。

### (3)県支出金

691,009千円（前年度比3,163千円の増）を計上。このうち保険給付費に充当する普通交付金を676,940千円見込んだほか、特別交付金として、保険者努力支援制度交付金6,200千円、県繰入金2,962千円、特定健康診査等負担金3,406千円等を計上しました。

### (4)財産収入

財政調整基金の預金利子として、54千円を計上しました。

### (5)繰入金

一般会計からの繰入金として、108,343千円（前年度比3,435千円の増）を計上しました。

[内訳]

保険基盤安定繰入	68,781千円	（保険者支援分、及び国保税の軽減措置相当額）
出産育児一時金繰入	3,360千円	（給付見込額の2/3を繰入）
財政安定化支援事業繰入	11,470千円	（被保険者が原因とならない特殊事情による国保税軽減相当額）
人件費繰入	17,451千円	（職員2名分の給与、手当、共済費）
事務費繰入	7,089千円	（うち税制度改正による軽減判定所得算定等）
地方単独事業減額措置分繰入	192千円	（国の制度を超える福祉医療現物給付に対する国費減額相当分）
財政調整基金繰入	32,000千円	（前年度比24,000千円の増）

### (6)繰越金

4,897千円（前年度比1,197千円の増）を計上しました。

(7)諸収入

国保税延滞金等、2,125 千円を計上しました。

4. 歳 出

(1)総務費

総務管理費、徴税費、国保運営協議会費を合わせ、24,561 千円（前年度比 410 千円の増）を計上しました。

(2)保険給付費

医療費の推移を勘案し、683,483 千円（前年度比 3,742 千円の増）を計上した。保険給付費の大半は長野県から交付される普通交付金を充当しています。本年度から経過措置期間終了により退職医療制度に係る医療費の計上を終了しています。

1)療養諸費

医療機関での医療給付や柔整施術等療養費、国保連合会へのレセプト審査費用を合わせ、588,870 千円（前年度比 238 千円の減）を計上しています。

2)高額療養費

国保加入者が医療機関等で支払う一部負担金の加重負担に対する軽減措置として 88,000 千円（前年度比 3,950 千円の増）を計上します。

3)出産育児諸費

国保加入者の出産件数 12 件を見込み 5,043 千円（前年度比増減なし）を計上します。

4)その他の給付費（移送費、葬祭諸費、精神諸費、高額介護合算療養費、傷病手当金）

1,560 千円（前年度比 20 千円の増）を計上します。

(3)国民健康保険事業費納付金

長野県から示された仮係数を基に納付金額を計上。医療給付分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分を合わせて、300,867 千円（前年度比 11,867 千円の増）を計上しました。

※長野県において県全体の医療費見込額から、各市町村の所得水準や医療費水準を勘案して配分される。長野県の国保会計へ市町村が納付する金額となります。

(4)保健事業費

特定健診や特定保健指導に要する経費の外、人間ドック受診補助金、医療費適正化のための医療費通知作成経費等として 20,019 千円（前年度比 213 千円の増）を計上しました。

心電図検査について、国保加入者の重症化予防と早期発見を目的として 40 歳以上の特定健診対象者全員の無料実施を継続すると共に、30 歳からの若年検診対象者も引き続き無料実施することとしました。

(5)基金積立金

国保財政調整基金の利子分の積み立てとして、55 千円を計上しました。

(6)諸支出金

保険給付費負担金等償還金、国保税還付金として、1,812 千円を計上しました。

(7)予備費

131 千円を計上しました。

## 令和5年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算の概要

75歳以上の方及び65歳から74歳の方で、一定の障がいがある加入希望者を対象とした医療制度の会計です。高齢者の収入に応じた支払いを求めて現役世代の負担を抑制するため、令和4年度10月1日から、一定の所得がある後期高齢者の医療費が1割負担から2割負担に引き上げられました（単身世帯は年金を含めて年収200万円以上、複数世帯では合計320万円以上が対象となる。）。

### 1. 予算規模

令和5年度の予算規模は、長野県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」と表記）が作成した市町村別負担金表（以下「資料」と表記）に基づき、歳入歳出予算総額を110,430千円（前年度比2,630千円の増）としました。

### 2. 歳入

#### (1)後期高齢者保険料

広域連合の資料に基づき、82,550千円（前年度比2,400千円の増）を計上しました。

保険料の納付方法は2種類あり、被保険者が受給している年金からの天引きによる「特別徴収」と、被保険者が納付書・口座振替により納付する「普通徴収」です。なお、「特別徴収」については、年金の年間受給額、介護保険料と本保険料の合計額と年金受給額との割合等によって特別徴収とするか否かを国が決定します。

なお、令和5年度での保険料率の改正はありません。

特別徴収保険料		52,597千円
普通徴収保険料	〔現年度分〕	29,585千円
	〔過年度分〕	368千円

保 険 料	均等割	40,907円(被保険者一人当たり)
	所得割	8.43%
	年間保険料限度額	66万円

#### (2)繰入金

一般会計からの繰入金として、27,589千円（前年度比226千円の増）を計上しました。

〔内訳〕

事務費用分	2,258千円	（総務管理費：1,538千円、保健事業費：720千円）
保険基盤安定繰入	25,331千円	（低所得者の保険料軽減分。広域連合の資料に基づき計上）

#### (3)繰越金

前年度と同額の100千円を計上しました。

#### (4)諸収入

前年度において歳出予算で還付した保険料等の広域連合からの戻入金等として、前年度と同額の160千円を計上しました。

### 3. 歳 出

#### (1)総務費

徴収費、保健事業費を合わせ、2,261 千円（前年度比 120 千円の増）を計上しました。

#### (2)分担金及び負担金

長野県後期高齢者医療広域連合へ白馬村が納付する費用として、被保険者が納付した保険料、及び保険基盤安定を合わせて、107,893 千円（前年度比 2,509 千円の増）を計上しました。

#### (3)諸支出

過年度に被保険者から納付され長野県後期高齢者医療広域連合へ納付した費用のうち、還付すべき保険料の費用として、前年度と同額の 150 千円を計上しました。

#### (4)予備費

126 千円を計上しました。

## 令和5年度白馬村農業集落排水事業特別会計予算の概要

### 1. 予算概要

令和5年度の予算総額は、5,636千円で、前年度に比べると1,699千円の増額となります。

### 2. 歳入

#### 1款 使用料及び手数料

使用料は野平処理区の使用料で853千円を計上しました。

#### 2款 繰入金

繰入金は、一般会計からの繰入金で4,721千円を計上し、前年度に比べると1,741千円の増額となります。

#### 3款 繰越金

繰越金は、10千円を計上しました。

#### 4款 諸収入

諸収入は、地元負担金52千円を計上しました。

### 3. 歳出

#### 1款 農業集落排水事業費

農業集落排水事業費は、維持管理費として3,837千円を計上しました。処理施設の運転管理委託料1,699千円が主なものです。

#### 2款 公債費

野平地区の長期債償還金及び一時借入金の利子として1,799千円を計上しました。

## 令和5年度 白馬村農業集落排水事業予算の概要

(歳入)

(単位：千円)

年度 区分	令和5年度	令和4年度	対前年度増減額	増減率	構成比
1. 使用料及び手数料	853	895	△ 42	△ 4.7	15.1
2. 繰入金	4,721	2,980	1,741	58.4	83.8
3. 繰越金	10	10	0	0.0	0.2
4. 諸収入	52	52	0	0.0	0.9
合計	5,636	3,937	1,699	43.2	100.0

(歳出)

(単位：千円)

年度 区分	令和5年度	令和4年度	対前年度増減額	増減率	構成比
1. 農業集落排水事業費	3,837	2,138	1,699	79.5	68.1
2. 公債費	1,799	1,799	0	0.0	31.9
合計	5,636	3,937	1,699	43.2	100.0

令和5年度 白馬村農業集落排水事業特別会計歳入予算（見積）総括表

（単位：千円）

款	本年度予算（見積）額	財 源 内 訳		前年度当初予算額	比 較	構 成 比 %	増 減 率 %	備 考
		特 定 財 源	一 般 財 源					
1. 使用料及び手数料	853	0	853	895	△ 42	15.1	△ 4.7	
2. 繰 入 金	4,721	0	4,721	2,980	1,741	83.8	58.4	
3. 繰 越 金	10	0	10	10	0	0.2	0.0	
4. 諸 収 入	52	52	0	52	0	0.9	0.0	
合 計	5,636	52	5,584	3,937	1,699	100.0	43.2	

令和5年度 白馬村農業集落排水事業特別会計歳出予算（見積）総括表

（単位：千円）

款・項	目	本年度 予算見積額	前年度 当初予算額	比較	本年度予算見積額の財源内訳					備考
					特定財源				一般財源	
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
1.	農業集落排水事業費	3,837	2,138	1,699					3,837	
	1 一般管理費	1,543	72	1,471					1,543	
	2 施設維持管理費	2,294	2,066	228					2,294	
2.	公債費	1,799	1,799	0				52	1,747	
	1 元金	1,560	1,539	21				43	1,517	
	2 利子	239	260	△ 21				9	230	
	合計	5,636	3,937	1,699				52	5,584	

## 令和5年度白馬村水道事業会計予算の概要

### 1. 予算概要

#### (1) 水道事業収益

水道事業収益は314,844千円を計上し、前年度に比べると5,043千円の増額となります。

前年度の実績を鑑み増額となっており、主なものは水道料金266,258千円です。

#### (2) 水道事業費用

水道事業費用は289,404千円を計上し、前年度に比べると22,692千円の増額となります。

水を作る費用や水を配る費用に加えて、水道施設の修繕費や料金の徴収業務等に係る経費です。

二股浄水場運転管理委託料として16,137千円、メーター取替工事4,873千円、上水道台帳補正・データ整備業務3,993千円、二股浄水場ボイラー油種変更工事として2,724千円を計上しました。

電力価格の高騰により、動力費が前年度に比べて15,990千円の増額となります。

#### (3) 資本的収入

資本的収入は109,914千円を計上し、前年度に比べると61,061千円の増額となります。

白馬駅前無電柱化事業に伴う水道設備の移転補償費用として長野県から5,000千円、企業債103,100千円のほか、一般会計からの出資金が計上されています。

#### (4) 資本的支出

資本的支出は298,584千円を計上し、前年度に比べると150,408千円の増額になります。

白馬駅前無電柱化事業に伴う水道設備の移転費用、配水管布設工事を6か所、施設の機器更新工事5件など工事請負費130,095千円のほか、投資有価証券購入費100,000千円、企業債償還元金、職員等の人件費が計上されています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額188,670千円は損益勘定留保資金・建設改良積立金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填します。

令和5年度 白馬村水道事業会計損益勘定予算総括表

収 益

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 当初予定額	比 較	備 考
1	水道事業収益	314,844	309,801	5,043	
	1 営業収益	281,607	280,011	1,596	
	1 給水収益	266,258	264,083	2,175	
	2 受託工事収益	1	1	0	
	3 その他営業収益	15,348	15,927	△ 579	
	2 営業外収益	33,237	29,790	3,447	
	1 受取利息及び配当金	3,590	240	3,350	
	2 雑収益	2	2	0	
	3 補助金	620	701	△ 81	
	4 長期前受金戻入	29,025	28,847	178	

費 用

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 当初予定額	比 較	備 考
1	水道事業費用	289,404	266,712	22,692	
	1 営業費用	264,392	240,113	24,279	
	1 浄水費	45,890	40,636	5,254	
	2 配水及び給水費	73,361	55,831	17,530	
	3 受託工事費	50	50	0	
	4 総係費	34,953	36,095	△ 1,142	
	5 委員会費	103	114	△ 11	
	6 減価償却費	104,035	102,387	1,648	
	7 資産減耗費	6,000	5,000	1,000	
	2 営業外費用	19,012	20,599	△ 1,587	
	1 支払利息	3,512	5,099	△ 1,587	
	2 消費税及び地方消費税	15,500	15,500	0	
	3 特別損失	4,000	4,000	0	
	1 過年度損益修正損	4,000	4,000	0	
	4 予備費	2,000	2,000	0	
	1 予備費	2,000	2,000	0	

令和5年度 白馬村水道事業会計資本勘定予算総括表

収 入 (単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 当初予定額	比 較	備 考
1	資本的收入	109,914	48,853	61,061	
	1 分担金及び負担金	6,600	3,230	3,370	
	1 工事負担金	6,600	3,230	3,370	
	2 企業債	103,100	43,200	59,900	
	1 企業債	103,100	43,200	59,900	
	3 出資金	214	2,423	△ 2,209	
	1 出資金	214	2,423	△ 2,209	

支 出 (単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 当初予定額	比 較	備 考
1	資本の支出	298,584	148,176	150,408	
	1 建設改良費	149,424	89,104	60,320	
	1 配水設備工事費	137,982	80,141	57,841	
	2 営業設備費	8,252	8,963	△ 711	
	3 固定資産購入費	3,190	0	3,190	
	2 企業債償還金	49,160	59,072	△ 9,912	
	1 企業債償還金	49,160	59,072	△ 9,912	
	3 投資	100,000	0	100,000	
	1 投資有価証券 購入費	100,000	0	100,000	

## 令和5年度白馬村下水道事業会計予算の概要

### 1. 予算概要

#### (1) 下水道事業収益

下水道事業収益は475,100千円を計上し、前年度に比べると3,406千円の減額となります。

主なものは下水道使用料178,137千円のほか一般会計からの補助金、長期前受金戻入等が計上されています。減額の主な事由は一般会計からの繰入額の減少などです。

#### (2) 下水道事業費用

下水道事業費用は459,700千円を計上し、前年度に比べると18,806千円の減額となります。

管渠及び処理場の維持管理、使用料の賦課・徴収業務等に係る経費です。

浄化センター運転維持管理委託料として41,806千円、脱水汚泥処理委託料として15,092千円を計上しました。

#### (3) 資本的収入

資本的収入は417,100千円を計上し、前年度に比べると54,855千円の増額となります。

一般会計からの補助金224,400千円、国庫補助金35,500千円、白馬駅前無電柱化事業推進に伴う補償費として長野県から11,322千円のほか企業債等が計上されています。

#### (4) 資本的支出

資本的支出は500,500千円を計上し、前年度に比べると24,812千円の増額となります。

し尿等投入施設整備基本設計業務として35,000千円のほか、浄化センターのストックマネジメント計画策定及び地震対策に伴う委託料として36,000千円、白馬駅前無電柱化事業推進に伴う下水道布設工事、長期債償還元金、職員人件費等が計上されています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額83,400千円は損益勘定留保資金・建設改良積立金で補填をします。

令和5年度 白馬村下水道事業会計損益勘定予算総括表

収 益

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	下水道事業収益	475,100	478,506	△ 3,406	
	1 営業収益	178,228	177,819	409	
	1 下水道使用料	178,137	177,728	409	
	2 その他営業収益	91	91	0	
	2 営業外収益	296,872	300,687	△ 3,815	
	1 補助金	111,100	113,500	△ 2,400	
	2 長期前受金戻入	185,549	186,974	△ 1,425	
	3 雑収益	223	213	10	

費 用

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	下水道事業費用	459,700	478,506	△ 18,806	
	1 営業費用	405,220	416,321	△ 11,101	
	1 管渠費	14,673	10,573	4,100	
	2 処理場費	76,524	67,102	9,422	
	3 総係費	34,726	34,182	544	
	4 減価償却費	278,997	304,164	△ 25,167	
	5 資産減耗費	300	300	0	
	2 営業外費用	52,480	60,185	△ 7,705	
	1 支払利息	35,470	43,565	△ 8,095	
	2 消費税及び地方消費税	17,000	16,620	380	
	3 雑支出	10	0	10	
	3 特別損失	2,000	2,000	0	
	1 過年度損益修正損	2,000	2,000	0	

## 令和5年度 白馬村下水道事業会計資本勘定予算総括表

### 収 入

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	資本的収入	417,100	362,245	54,855	
	1 企業債	120,000	110,000	10,000	
	1 企業債	120,000	110,000	10,000	
	2 補助金	259,900	239,570	20,330	
	1 国庫補助金	35,500	13,570	21,930	
	2 他会計補助金	224,400	226,000	△ 1,600	
	3 負担金等	25,878	7,085	18,793	
	1 分担金	5,000	4,000	1,000	
	2 工事負担金	17,500	0	17,500	
	3 受益者負担金	2,508	1,500	1,008	
	4 その他負担金等	870	1,585	△ 715	
	4 県補償金	11,322	5,590	5,732	
	1 県補償金	11,322	5,590	5,732	

### 支 出

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	資本的支出	500,500	475,688	24,812	
	1 建設改良費	100,452	44,988	55,464	
	1 管渠建設改良費	64,452	17,552	46,900	
	2 処理場建設改良費	36,000	27,436	8,564	
	2 企業債償還金	400,048	430,700	△ 30,652	
	1 企業債償還金	400,048	430,700	△ 30,652	